

豊橋市民文化会館ホール、 リニューアルオープン

1967年(昭和42年)の開館以来、長く親しまれてきた豊橋市民文化会館ホール。その歴史を感じさせる雰囲気大切にしながら、現代の利用にふさわしい空間へとリニューアルされました。



舞台から客席を見る



赤い廊下



交流スペース



楽屋

令和8年3月14日、豊橋市民文化会館ホールがリニューアルオープンしました。約2年にわたる改修工事を経て、より快適で利用しやすい空間へと生まれ変わりました。客席は配置を見直し、351席に。新しい椅子は座り心地も向上し、観覧環境が大きく改善されています。あわせてロビーや楽屋も一新され、上質で落ち着いた空間へ。また、本館事務所前には親子向けの交流スペースも新たに設けられ、幅広い世代の皆さまに親しんでいただける環境が整いました。オープニングでは、豊橋交響楽団と森のこみちバンドによる、ミニコンサートが行われ、新たな門出にふさわしい華やかなひとときとなりました。工事期間中はご不便をおかけしましたが、これからは再び皆さまの発表の場、文化活動の場としてご利用いただけます。新しくなったホールから、多くの文化の芽が育っていくことを願っています。

春の市民茶会を開催します

毎年恒例の春の市民茶会を開催します。お茶の作法を知らなくても気軽に楽しんでいただける和やかな雰囲気のお茶会です。ぜひお気軽にご参加ください。日程と参加流派、会場は次のとおりです。

- とき/令和8年4月25日[土] — 26日[日]
両日とも午前10時 — 午後3時
- ところ/豊橋市民文化会館リハーサル室

参加流派/

- 25日(土)=眞千家今和会、煎茶売茶流
- 26日(日)=松尾流、茶道宗備吉田流
- ▼茶券販売/前売1,400円(2席綴り)、当日は1席800円 豊橋市民文化会館、豊橋市三の丸会館、穂の国とよはし芸術劇場、参加流派等で販売しています。
- ▼問合せ/豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)



豊橋総合いけばな展を開催します

豊橋華道連盟に所属する8流派の合同いけばな展です。各流派色色の作品をお楽しみください。

- とき/令和8年4月25日[土] — 26日[日]
両日とも午前10時 — 午後4時
- ところ/豊橋市民文化会館2F展示室

毎回恒例の児童・生徒作品の部も参加者募集しています。詳細はこちらから



出瓶団体/

- 嵯峨御流、華道家元池坊豊橋、小原流、南宗流、眞生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、天生流(順不同)
- ▼問合せ/豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)

県文連東三河部芸能大会

- 日程/令和8年7月12日[日] 12時30分開演(予定)
- 会場/豊橋市民文化会館ホール

豊橋からの出演として、長唄協会による「元禄花見踊り」で華やかに幕を開け、締めくくりには伊藤民謡会・結月流元佳照会による民謡と踊りが披露されます。

東三河の文化協会等による合同発表会「県文連東三河部芸能大会」が開催されます。東三河地区の文化協会から、多彩な団体が出演し、日頃の研鑽の成果を披露します。令和8年度は豊橋市での開催、ぜひご来場ください。



今号の一枚



《Blue vase》
仙田敦志

技法/写真をカラーコピーして、線香で焼き焦がしてコラージュしたもの
サイズ/A2

【展覧会情報】
仙田敦志・典代 二人展
「A cup of Joe」

仙田敦志・典代による二人展を開催します。展覧会タイトルの「A cup of Joe」は、スラングで「一杯のコーヒー」という意味です。仙田敦志は、写真を線香で焦がしたコラージュ作品(スコッチング)を、仙田典代は動物画を展示します。それぞれの表現の違いを感じながら、どうぞご覧ください。

会期:5月11日(日)~5月31日(土)
会場:アートエッジギャラリー(豊橋市向山西町3-2東海フレーム2F)

第55回 長唄演奏会のお知らせ

- 日程/令和8年5月10日[日] 正午開演
- 会場/豊橋市民文化会館ホール

入場
無料

勝奈栄会、長唄松の実会、長唄さくら会
(順不同)

豊橋長唄協会加盟団体による合同演奏会です。幕開けに3社中合同による「小鍛冶」を上演いたします。ぜひ多くの皆様にご来場いただけますよう、心よりお待ちしております。

▼日時/令和8年5月10日[日] 正午開演(11時30分開場) ▼会場/豊橋市民文化会館 ▼入場料/無料 ▼問合せ/豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)

十、橋弁慶	九、紀州道成寺	八、俄獅子	七、吾妻八景	六、操り三番叟	五、昔噺たぬき	四、娘七種	三、官女	二、五郎	一、小鍛冶
さくら会	松の実会	勝奈栄会	さくら会	松の実会	勝奈栄会	さくら会	勝奈栄会	松の実会	豊橋長唄協会

豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞 候補者の推薦について

締切:令和8年6月6日(土)

豊橋文化振興財団では、優れた文化活動実践者(団体を含む)を顕彰することにより、市民の芸術文化活動の高揚と文化芸術の発展を図るため、「豊橋文化賞」および「豊橋文化奨励賞」の受賞候補者を推薦により募集します。

- ▼選考対象者/次のいずれかに該当する者。詳細は、募集要項をご確認ください。
- ◎豊橋文化賞/学術・芸術・その他文化全般の振興に関して、顕著な功績のあった者
- ◎豊橋文化奨励賞/実践する文化活動を奨励することにより、今後の豊橋市を中心とする地域の文化芸術の振興に大きく貢献することが期待される者
- ▼募集要項/豊橋文化振興財団事務所(穂の国とよはし芸術劇場内)、市民文化会館、財団ホームページ(<http://www.bunzai.or.jp>)にて配布 ▼応募期間/6月6日(土)まで ▼贈呈日/令和8年9月12日(土) ▼贈呈会場/豊橋文化祭開会式(豊橋市民文化会館) ▼賞品/賞状及び副賞10万円 ▼問合せ/豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)

豊橋文化祭協賛行事募集について

豊橋市および豊橋文化振興財団では、市民の皆様の芸術や文化の振興のため、市内文化施設で実施する文化事業を「協賛行事」として広く募集します。

■対象期間/令和8年9月26日(土) ~ 11月30日(月)

- ▼対象/東三河で結成された文化団体・企業が「対象期間」に市内で実施する文化事業で収益を目的としないもの。
- ▼協賛特典/①本紙等に情報を掲載 ②実施団体発行の印刷物等に「豊橋文化祭協賛行事」と表示可 ③財団指定管理文化施設(豊橋市民文化会館、豊橋市公会堂、豊橋市三の丸会館、ライフポートとよはし ※穂の国とよはし芸術劇場は対象外)で実施の場合、期間中1団体1行事に限り利用料金を免除。
- ▼申請方法/5月31日(日)までに申請書を豊橋文化振興財団事務所(穂の国とよはし芸術劇場内)に提出。※申請書は、豊橋文化振興財団事務所にて配布します。
- ▼その他/詳細については、応募要領を必ずご確認ください。

催し物スケジュール 5-7月

市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が後援する催し物を中心に掲載しています。掲載のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

5月	裏千家六日月会 時間/10時~ 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/1,000円(一般参加可) 担当/廣田宗桂
8日(金)	第813回邦楽鑑賞会 時間/14時~ 会場/豊橋市民文化会館 入場料/無料 内容/財団加盟邦楽団体による発表会
9日(土)	小品盆栽銘品展 時間/9時~17時 会場/豊橋市民文化会館 第1・2展示室 入場料/無料
10日(日)	第55回長唄演奏会 時間/12時~ 会場/豊橋市民文化会館 入場料/無料 内容/豊橋長唄協会加盟の3団体による合同発表会 茶道クラブ月例会茶会(担当:宗備流豊橋支部) 時間/9時30分~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/一般800円、会員700円(要:事前予約) 東陽ふれあい音楽会「豪華客船カトルファンタジーで世界クルーズ」 ~二胡・ギター・ピアノで奏でる世界旅行へ誘います~
13日(水)	時間/10時~ 会場/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/〈QuatreBonbon〉Nancy+なんしい(二胡)、まつはしたかし(ギター)、宗行晶子(ピアノ)、前田舞(ナレ) 曲目/Time to say Goodbye、愛の讃歌 他
15日(金)	水石展 時間/9時~17時 会場/豊橋市民文化会館 第1展示室 入場料/無料 レクチャーコンサート「音楽の旅~音楽とともに歴史探訪~ Vol. 1 バロックからロマン派まで」 時間/14時~ 会場/小坂井文化会館フロイデンホール 入場料/一般3,000円、高校生以下1,500円 出演/田辺菜美子(ソプラノ)、山本美華(ヴァイオリン)、ハマダ美季(ピオラヴァイオリン)、鈴木康史(チェロ) 内容/ソプラノと弦楽三重奏によるレクチャーコンサート 歌謡アカデミー 21歌謡選手権大会及び発表会 時間/9時20分~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料
24日(日)	東陽ふれあい音楽会「My Favorite Songs」~雨の日はすてきにすごうた~ 時間/10時~ 会場/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/〈La Porta ~とびら~〉安藤佳子(歌)・河合貴子(歌)・西谷綾(歌)・浅井由美子(ピアノ) 曲目/サウンド・オブ・ミュージックより、オペラ「トゥーランドット」より、みかんの花咲く丘 他 新津くらら ヴァイオリンリサイタル 時間/14時~ 会場/穂の国よはし芸術劇場創造活動室A 入場料/3,000円、小学生~大学生1,500円 内容/ヴァイオリンとピアノによるクラシックコンサート 出演/新津くらら(ヴァイオリン)、植田結衣(ピアノ) 曲目/J.アダムズ:Road Movies、P.サラサーテ:カルメン幻想曲 Op.25、M.ラヴェル:ヴァイオリンソナタ第2番 M.77 他
27日(水)	東陽ふれあい音楽会「魅惑の大正琴アンサンブル」~ハーブクィーンズと初夏の楽しいひとときを~ 時間/10時~ 場所/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/〈琴城流大正琴アンサンブル ハーブクィーンズ〉朝倉由美・鈴木佳江・宮道典子・前田加代子 曲目/つぐない、異邦人、天国と地獄 他
30日(土)	「青い目の人形物語」"100才のお人形"のお話と合唱ミュージカル 時間/15時~ 会場/穂の国よはし芸術劇場主ホール 入場料/一般2,000円、4歳から高校生1,000円 内容/「青い目の人形」に関するトークと、結成30周年を迎える豊川親子合唱団だけのこによる平和の大切さ、いのちの大切さを歌い継ぐミュージカル。
31日(日)	朗読のついで 時間/13時30分~ 会場/穂の国よはし芸術劇場創造活動室A 入場料/無料 内容/豊橋朗読の会による短編小説と詩の朗読

6月	第814回邦楽鑑賞会 時間/14時~ 会場/豊橋市民文化会館 入場料/無料 内容/財団加盟邦楽団体による発表会
5日(金)	裏千家六日月会 時間/10時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/1,000円(一般参加可) 担当/清水宗澄
6日(土)	茶道クラブ月例会茶会(担当:表千家不白流) 時間/9時30分~(予定) 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/一般800円、会員700円(要:事前予約)
7日(日)	朝翠流朝道吟詠会55周年記念大会 時間/9時~ 会場/ロワジュールホテル豊橋 入場料/無料 内容/詩吟、剣詩舞の発表会
10日(水)	東陽ふれあい音楽会「魅惑の大正琴アンサンブル」~ハーブクィーンズと初夏の楽しいひとときを~ 時間/10時~ 場所/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/〈琴城流大正琴アンサンブル ハーブクィーンズ〉朝倉由美・鈴木佳江・宮道典子・前田加代子 曲目/つぐない、異邦人、天国と地獄 他
13日(土)	朗読のついで 時間/13時30分~ 会場/穂の国よはし芸術劇場創造活動室A 入場料/無料 内容/豊橋朗読の会による短編小説と詩の朗読
14日(日)	水曜短歌会 時間/13時~ 会場/豊橋市民文化会館第6会議室
17日(水)	石木展 時間/9時~17時(最終日は15時) 会場/豊橋市民文化会館 第1展示室 入場料/無料
19日(金)	日曜短歌会 時間/13時~ 会場/豊橋市民文化会館第6会議室
21日(日)	ペン書道展 時間/9時~17時(最終日は15時) 会場/豊橋市民文化会館 第1・2展示室 入場料/無料
23日(火)	東陽ふれあい音楽会「トリオ・アルモニコ」ダンス!ダンス!クラシック~魂を揺さぶる民族の舞~ 時間/10時~ 場所/東陽生涯学習センター 参加券/500円 出演/〈トリオ・アルモニコ〉北田エリカ(ヴァイオリン)、高岡真貴(クラリネット)、幸田裕子(ピアノ) 曲目/チャルダッシュ(モンティ)、タンゴ(アルベニス)、ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのためのトリオ(シェーンフィールド)ほか
24日(水)	家元襲名いけ花展 時間/9時~17時 会場/豊橋市三の丸会館 千切庵 入場料/無料 内容/いけ花展と煎茶席

7月	第815回邦楽鑑賞会 時間/14時~ 会場/豊橋市民文化会館 入場料/無料 内容/財団加盟邦楽団体による発表会
3日(金)	茶道クラブ月例会茶会(担当:松尾流) 時間/10時~(予定) 会場/豊橋市三の丸会館 会費/一般800円、会員700円(要:事前予約)
5日(日)	裏千家六日月会 時間/10時~ 会場/豊橋市三の丸会館 会費/1,000円(一般参加可) 担当/清水宗苗
6日(月)	Trombone Quartet T-NoTo 3rd CONCERT 時間/13時30分~ 会場/ライフポートとよはし中ホール 入場料/無料 内容/アマチュア奏者によるトロンボーン四重奏の演奏会
11日(土)	県文連東三河部芸能大会 時間/12時30分~ 会場/豊橋市民文化会館 入場料/無料 内容/東三河5市の文化協会による合同発表会
12日(日)	水曜短歌会 時間/13時~ 会場/豊橋市民文化会館第6会議室
15日(水)	

18日(土)	本多正樹コンサート 豊橋市公会堂8 時間/15時~ 会場/豊橋市公会堂 入場料/2,500円(学生1,500円) 内容/バンド演奏によるフォークソングコンサート。松山千春カバー&本多正樹オリジナル
19日(日)	日曜短歌会 時間/13時~ 会場/豊橋市民文化会館第6会議室 第15回ファミリーコンサート 歌劇「プリンセス・マーメイド」 時間/14時~ 会場/穂の国よはし芸術劇場 主ホール 入場料/1,500円 内容/ドヴォルザーク作曲歌劇「ルサルカ」の音楽とディズニーのリトルマーメイドのストーリーを融合させたオリジナル作品を演奏。
31日(金)	映画ポスター展「愛しの動物映画の世界」..... 8月9日(日)まで 時間/9時~17時(最終日は15時) 会場/豊橋市民文化会館 第1・2展示室 入場料/無料

気まぐれ VOL.23 プチ旅

静岡ソウルフードと二大イベント

斧路朱音
 昨年のゴールデンウィーク明けに2泊3日の冒険旅行を敢行...東へ向けて出発した。高速道路を使わない一般道のんびり旅だ。
 バイパスを乗り継ぎ、まずは「静岡県立美術館」へ...開館10分前に到着したが、入口には長蛇の列ができていた。しばらく待って、特別展「ブルックリン博物館所蔵古代エジプト展」の会場へ潜入。石碑・宝飾品やパピルス・人型の棺に人間や猫のミイラなど150点が並ぶ。「掘り起こせ、三千年の謎」のキャッチコピーは伊達じゃない。最新技術を駆使した研究成果や世界最古の葬送文書《ピラミッド・テキスト》の再現音声とともに古代エジプトの謎を探るといふコンセプト。



タイムスリップした古代文明の世界から現実世界へ舞い戻った途端、静岡市民のソウルフード《しぞーかおでん》が脳裏をよぎるが、今回はパスして由比で北へ進路変更。初日の昼食は、富士宮のワンオベ町中華『京頌苑(けいしゅうえん)』に決めていた。市街から少し離れた郊外にもかかわらず、駐車場は結構なにぎわい。入口近くのカウンターに落ち着き、メニューを眺めて《チャーハン》と《餃子》に即決するが、中々注文を取りにこない。ひとり厨房で黙々と働く店主の所作を眺めながら20分程経過...ようやく麦茶を運びながら店主が小走りで注文を取りに来た。やがて登場した又焼のコマ切れ入りの《チャーハン》はボリューム満点。しっとり系で塩加減も優しい。大振りな《餃子》は焼き目も香ばしく、ニンニクの効いた餡は、野菜たっぷりジューシー!初めてなのに、どこか懐かしさ漂う町中華だった。
 富士宮駅前のホテルに荷を降ろして街中をぶらり...「まちなかアートギャラリー」というイベントが開

かれ、多彩な現代アートが店舗を飾る。夕食は「富士山本宮浅間大社」の裏手にある「やまだ食堂」...そば降る雨のせいか客足はない。店内に置かれた鉄板前に陣取り、《富士宮焼きそば(玉子入り)》を注文。おばちゃんが目の前で焼いてくれるライブパフォーマンスが嬉しい。固めの独特なそばとたっぷりのキャベツを炒め、肉かすを投入してウスターソースをジュースと掛け回すと薫り高い湯気が立ち昇る。卵を割って鉄板に落とし、焼きそばを乗せれば早く蒸し焼きにして混ぜ合わせる。最後にイワシの削り粉を振りかけて完成...鉄板から小皿に取り、紅シウウガを絡めていただく。

翌朝は浅間大社に参拝後、スタンプラリーに参加しながら終日アート会場を巡る。途中「麵屋ブル



ース」に立ち寄り、青紫蘇と生姜の千切りにミニトマトをあしらったオシャレな《白そば》で昼食。夕刻には満喫した富士宮に別れを告げ、清水に向かってアクセルを踏み込んだ。清水港併設の魚市場「河岸の市・まぐろ館」2階にある『海山』を覗く。ここの名物は《一貫握り》だが、《花ちらし(ミニちらしと桜えびのかき揚げ)》に惹かれてオーダー...ちらしもいいが、桜海老の独特な香りが鼻孔をくすぐる。3日目、ホテルの朝食バイキングに《浜松ミニ餃子》を発見!帰路に待ち受ける舞阪の『浅草軒分店』に思いを馳せながら《くら飯》に乗せてパクついた。



※今年も富士宮商店街では「ふじのみや・まちなかアートギャラリー」(5月15日~24日)が開かれる。

半日クラス合唱部を開催しました

3月21日(土)、ライフポートとよはしコンサートホールにて開催し、36名が参加しました。内藤智恵さん(指揮)、鈴木雅子さん(ピアノ)の指導のもと、「糸」を二部合唱(一部三部)で練習。参加者が歌いやすいパートを選びながら、声を合わせる楽しさを味わいました。参加者の約6割が60歳以上で、男性は5名とやや少なめでしたが、会場には終始和やかな雰囲気が広がり、シンプルに声を出すことの楽しさを改めて感じられる時間となりました。合唱団には入らないものの歌ってみたいという方も多く、アンケートも好評で、今後の継続開催を検討しています。



文化短信

▼豊橋文化短歌会
 一月 日曜短歌会
 九十三歳姉身籠りぬ枕辺に遺愛のつみ調松風 岡田宏子
 生まれたる波は雁木に跡つけて鞆の浦から刻を渡へり 丹羽智子
 ふたご座の流星群を見る夜は藍深くして一瞬の刻 内藤よし胡
 思春期の入口で会ひしレモン哀歌「そらで言へます智恵子系想ひ 伊藤はつ子
 椿葉しずくを抱きてうららかに早春の光をちゆく朝 志摩じゅん
 朝起きてなんか嬉しく窓を開け明日後日か驚くウグイス鳴くは 村上 充
 ふるさとの夕日の海は世界と言ひさるひとがすこし始まる 池田あつ子
 早々と中止決まりたり豊橋と名古屋の春祭りのイベント 小池保利
 六さいのいつてきますが風にのりおかしなさいに抱きしめられ 宇佐美幸枝
 一月 水曜短歌会
 休眠のボインセアと知らずして水をかけたたり冬の最中に 藤井正子
 「花かつお踊っているおなじいちゃんつかえぬ様に雑煮を食べ 前田哲宏
 普門寺の船形山に紅葉狩り小さき墓標の樹木葬者も 彦坂石転
 一瞬の出逢いが年月(とき)を渡る甘き言葉の金色の日々 藤井正子
 十二月花瓶の色どりにしけりつるうめもどきを川辺に探す 鈴木り子
 寄せ植えの主役は赤いシクラメン心のすき間に華やき添えて 杉本 糸
 丁寧に土を落とされ山牛草この冬もまた漬物になる 澄子
 黒豆をややくふうら炊きあげて 亡母の味とは微妙にちがう 夏目伊代子
 二月 日曜短歌会
 切れ味の悪しき包丁に息子が帰省二日目 伊藤はつ子
 八十八歳つらつら思へば吾も又地球の申し子トッベルゲンガー 岡田宏子
 阪神大震災火に骨消えて母探す三十二年声いまだなし 志摩じゅん
 エンタメやコスメとグルメに魅せられて隣国のことばをひびき開き 小池保利
 そろばん塾の側の小暗き駄菓子の屋に吸いよせられて奇しう 内藤よし胡
 寒空に呼び止められて語る声 丹羽智子
 二月 水曜短歌会
 二不賛成一口に出せずに曖昧に頷く舌を知りつつ語る娘(こ)お正月おせちを作りて迎えて 加藤美津子

▼市民俳句会
 三日はや空爆の記事胸を刺す 佐藤英子
 鶯鶯の水面華やぐあをををと 坂部靖子
 臘梅の微風に早も香を放ち 加藤美津子
 上座より下座賑はふ新年会 大河哲宏
 眉細くきらりと巫女如初鏡 後藤青海人
 初稽古駅に弓持つ女高生 高橋良子
 肌脱ぎの所作の行射と淑気満 篠田和代
 一縷なる水の絶えざる去年今 河合澄子
 年 九九三回句会
 寒梅や彫師の膝に松屑 大河美智子
 二月 逃げ月しるし置く別れのゆたたりと猫歩みゆく春夕 坂部靖子
 ニ寺の清らに香る白つづじ 高橋良子
 梅ちらほら子らの白い歯光り 後藤青海人
 幟旗はためく桃色春二月 加藤美津子
 琴の糸弾く指先春動く 河合澄子
 年 九九四回句会
 啓蟄や若沖の絵の鶏跳なる 後藤青海人
 春蘭や声の明るき美人医 高橋良子
 草ぐさの息吹を競ひ春浅し 佐藤英子
 こでまりや吾が青春の通動路 大河美智子
 一徹の棚の盆栽木の芽張る 篠田和代
 こでまりや風に戯れ一日過ぐ 坂部靖子
 啓蟄や光あふるる屋根瓦 加藤美津子
 一眺ねの鱗の光り河温む 河合澄子